

☐ 三宅議員 地域社会は、ただ
**観光事業で
地域の活性化を**



太陽光発電設備（消防庁舎）

のとして有効な考え方のひとつであると考えます。現在、いくつかの自治体を通じて、モデルとなる取り組みを想定し、実証的な調査研究が進められており、今後これらの結果を踏まえた規制緩和や法改正などによる国からの支援策など、その動向を注視している。また、先行的に調査研究が行われている自治体の事例を見ると、多様な取り組みが検討されており、費用対効果や将来の見通しなどについて幅広い情報収集に努めたい。

単に住みやすいだけでは住民の満足度は上がらない。何か誇れるものがあり、これを他地域の人が知ってもらいたいというのが、観光事業の出発点かもしれない。人は動き、意識が変わる。物が動き、経済が膨らむ。これらが連動して地域の暮らしの拡大再生産が始まる。都市の優位性は、人的交流の密度であり、そこから生まれる知恵が世界を変えていく。人との交流が時代のテーマである。観光施策は、地方にあつては都市再生計画でもあり、部局横断型の対応が今後必要となってくるが、どうか。

A 市長 平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により、各地でイベントの自粛が相次いだ。だが、本市としては東日本を応援するとともに、地域の発展には人の交流が不可欠であるとの認識のもと、お城まつりをはじめ、各種イベントを例年どおり実施した。議員ご指摘のとおり、人や物が動くことによって、意識が変わり、経済が膨らむため、観光が地域活性化の起爆剤となるよう、部局横断型や地域参画型といった手法で対応すること

により、さらなる文化観光の振興に努め、まちの活性化につなげたい。



丸亀から元気を発信（お城まつり）

**新フェリーしわく丸
就航はいつか**

☐ 松浦議員 島民の期待であり、丸亀市の経済にとっても大変重要な新フェリー「しわく丸」は10月1日に就航する予定であったが、今なお就航していない。そこで、次のことを伺いたい。

①このような事態になった原因は②不具合はフェリーと岸壁を結ぶランプドアの改造によるものだけなのか③早期就航と今後の安定的な運航のためには適切に対応できる組織が必要と考え

るがどうか。

A 生活環境部長 ①船が竣工し、引き渡し前に海上を運航中、車両甲板部ランプドアの接続部分から水が噴出したため、手直しを命じたものである。契約上は、引き渡しを受けておらず、検収の段階で止まっている②運行事業者からの申し出により、車両甲板部ランプドアの1メートル延長を行うとともに、それに伴い、可動甲板下部のかさ上げなどを行った③就航延期を決定したのは、何より航路事業者が地元住民のため、長きにわたり安全に運行できるよう最善を尽くした結果である。今治造船㈱の全面的な支援を得て検査しており、データ解析が完了した後、方向性を決めていく。

**七尾市との
さらなる交流を**

☐ 内田議員 先日、親善都市の石川県七尾市に視察に行ったが、これからの交流のあり方を考えさせられた。そこで、次のことを伺いたい。①現在、どのような文化交流が行われているのか②加賀藩、京極藩など歴史面で

の交流の可能性③和倉温泉わくたまくんと京極くんの交流について④長谷川等伯と猪熊源一郎によるアートの交流について⑤のれんとうちわの交流について⑥市民活動レベルでの交流について⑦海産物、農産物の交流について⑧災害支援での交流について。

市長 ①双方の文化協会の会員が交互に行き来している。また、少年団体交歓研修会では50名程度参加交流している②歴史を通じてさらなる交流の可能性を探りたい③ゆるキャラを活用した交流によりさらに絆が深まればと思う④⑤両市のアートによる交流や伝統技術などを通じての交流は大変意義があり、今後検討したい⑥親善交流調印40



七尾市の花嫁のれん

周年に向けて、市民レベルでの交流を深めたい⑦特産品を相互に紹介し、販売することは産業振興に大変有効であり、常設的な紹介スペースを検討したい⑧災害時だけでなく、さまざまな分野での連携を強化する相互応援の体制づくりに努めたい。

市民が安心できる

次期介護保険計画を

中谷議員 現在、丸亀市の介護保険料の基準額は月額3600円であり、来年度の改定で値上げは避けられないと言われている。国では、保険料値上げを軽減するため、平成24年度に限り、県に積み立てられた財政安定化基金を取り崩すことができると法改正されている。この基金を取り崩すとともに、介護保険支払準備基金も活用して保険料の上昇を抑えることを求めるがその見解は。また、低所得者への対応として、保険料段階の細分化と市として低所得者への減免制度をつくることを求めるが、その見解は。

健康福祉部長 第5期介護保険料は、全国的な傾向として上

昇は避けられない状況が予測されており、本市も例外ではない。そのため、介護給付費と介護保険財政安定化基金の取り崩しにより上昇抑制を図りたいと考え検討している。また、保険料は9段階に細分化されており、国の政令により細分化可能となった第3段階について、今後福祉推進委員会の意見を聞いたうえで判断したい。減免については、災害など特別な事情がある場合は条例に規定しているが、所得だけに着目して負担を軽減することは制度の趣旨に反することから適切ではないと考えている。



耕作放棄地 どう考えるのか

国方議員 本市の耕作放棄地の面積は、153ヘクタールと聞いており、その面積はお城の敷地の7・5倍に当たる。こういった153ヘクタールもある

耕作放棄地対策をどのように考えているのか。また、耕作放棄地に後継者がいない場合、どのような対策を考えているのか。

産業文化部長 地域農業を守り育て、一層の農業振興や環境保全を図っていくうえで、耕作放棄地の解消や未然防止は重要な課題だと認識している。全国調査では、高齢化や後継者不足による労働力不足が発生原因の中で最も多く、全体の5割を占めており、本市においても例外ではない。耕作放棄地の解消に向けた対策として、近隣の農業者や地域の認定農業者、特に意欲ある若手の就農者に対して対策情報を提供しながら、再生利用交付金の活用を踏まえた利用権の設定による解消に取り組んでいる。今後、認定農業者制度や集落営農の法人化の周知などについて、県や農業委員会など関係機関と連携しながら積極的に取り組みたい。

議会だよりは、議員の質問の中から1項目を選び、質問・答弁の内容を要約のうえ掲載しています。

平成23年中の議会活動状況

本会議運営状況				委員会等開催状況				
区 分		定例会	臨時会	合 計	区 分		委員会	協議会等
招 集 回 数		4	1	5回	常任委員会	総 務 委 員 会	6	6
会 期 延 日 数		83	1	84日		教 育 民 生 委 員 会	5	8
本 会 議 日 数		28	1	29日		都 市 経 済 委 員 会	4	11
						生 活 環 境 委 員 会	5	9
議 案 議 決 内 容	原 案 可 決	86	3	89件	特別委員会	行 財 政 対 策 特 別 委 員 会	4	
	原 案 否 決	0	0	0件		議 会 改 革 特 別 委 員 会	18	
	専 決 承 認	3	1	4件		一 般 ・ 特 会 決 算 委 員 会	5	
	認 定 そ の 他 計	6	2	8件		企 業 会 計 決 算 委 員 会	2	
		95	6	101件				
選 挙 ・ 選 任		0	4	4件	その他	全 員 協 議 会	15	
請 願		0	0	0件		議 会 運 営 委 員 会	21	
陳 情		3	0	3件		各 派 会 長 会	14	
決 議 ・ 意 見 書		7	1	8件		議 会 だ よ り 編 集 委 員 会	9	

【連絡先】
丸亀市議会事務局
TEL 24-8828
丸亀市大手町2-3-1



メールアドレス
gikai@city.marugame.lg.jp

議 会 に 関 す る 意 見
感 想 募 集 し ま す 。

ご 案 内

次 回 の 定 例 会 は
3 月 上 旬 に 開 会
予 定 で す 。

議会の動き

10・11・12月

10月

- 7日 生活環境委員会協議会
- 11日 一般会計決算特別委員会
- 12日 一般会計決算特別委員会
- 13日 議会だより編集委員会
- 14日 一般会計決算特別委員会
- 17日 教育民生委員会勉強会
- 21日 議会改革特別委員会
- 24日 行財政対策特別委員会
- 25日 議会改革特別委員会
総務委員会協議会
- 26日 一般会計決算特別委員会
教育民生委員会勉強会
- 31日 議会改革特別委員会

11月

- 1日 生活環境委員会協議会
- 7日 議会改革特別委員会
生活環境委員会協議会
- 8日 全員協議会
議会運営委員会

- 8日 各派会長会
- 17日 議会改革特別委員会
- 18日 議会運営委員会
生活環境委員会協議会
- 19日 議会改革特別委員会
- 24日 議会改革特別委員会
- 28日 議会運営委員会
- 30日 全員協議会
定例会初日(～12月21日まで)

12月

- 2日 議会運営委員会
- 7日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
- 8日 議会改革特別委員会
- 9日 教育民生委員会
都市経済委員会
教育民生委員会協議会
都市経済委員会勉強会
- 12日 総務委員会
生活環境委員会
全員協議会
- 21日 全員協議会
- 26日 総務委員会協議会

議会改革特別委員会

「議会基本条例とは」

委員に聞く！



丸亀市議会では、「議会基本条例」の4月施行を目指して取り組んでいます。そこで今回は、条例（案）に示す四つのことについて、委員にその内容や思いなどを聞きました。

①議会の活動原則 山本直久委員

これからの地方政治は、地域間競争がますます厳しくなり、市政において、議会側から政策提案をどんどん打ち出していくことが重要になってくると思います。われわれ議員に与えられた使命は、大変重いものになるでしょう。そのためには、調査研究を積極的に行い、議会の資質を高め、市政に反映させることが重要になってきます。

②正・副議長の選出 岡田健悟委員

正・副議長の選出に際し、立候補と所信表明を行います。条例化に至った背景とねらいは、①透明性を確保し、市民にわかりやすい手法を取り入れること②会派に属していなく

ても議員個人として立候補でき、等しく選ばれる権利があること③議会の代表を決める過程で、基本理念や姿勢を表明し、議員一人ひとりの態度も明白にさせること④議員個人の政治信条を市民に公表し、市政の繁栄に積極的に関与していく仕組みを全議員が構築することがあります。

③質問・反問権 高木康光委員

定例会では、提案された議案を審議するほか、市政全般について質問を行います。これまでは、質問と答弁を一括して行う方式を採用してきましたが、各質問に対する答弁がわかりにくい面もありました。そこで、個々の質問ごとに答弁する「一問一答方式」も取り入れます。また、現在議員から執行部に対する質問は一方通行ですが、これからは議場の議論をより深めるため、執行部から議員に対して質問内容や背景などを「反問」できるようにします。

④議員間の自由討議 大前誠治委員

今までも議員間での意見交換は行ってきましたが、会派や所属団体が違えば議論をして、内容によっては平行線をたどるばかりで、あまり実りがないこともありました。しかしながら、賛成・反対の意見を聞いたうえで討議・討論を重ねることで、議員一人ひとりが十分に内容を把握し、採決に臨む議会にしていきたいと思います。

編集後記

コップ一杯の水が7万円！

靈感商法の話ではありません。先日、ノートパソコンに水をこぼしてしまいました。電源をすぐに落とせばいいのに、それみせずアウト。幸いデータは残っていたものの、修理に7万円もかかってしまいました。修理後、早速、データのバックアップ用にと、外付けハードディスクの購入に走りまわりました。

後に、インターネットで調べると、「パソコンのそばに飲み物は置かない」というのが鉄則らしいです。

あと、パソコンを置く場所は広いスペースがいいですよ。みなさんもご注意ください！

編集委員会では、市民に議会活動をより知ってもらうため、議会だよりの内容を少しずつ充実させていきます。これからも、「市民にわかりやすく」をモットーに、より充実した議会だよりにしてまいります。



編集委員 福部 正人